

平成28年度 第1回 松山市子ども・子育て会議 全体会 会議録

1. 日時

平成29年2月21日(火) 13:30~14:25

2. 場所

松山市青少年センター 1階大会議室

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員(17名)

相原真亜沙、井上もと子、上岡周介、香川実恵子、金谷めぐみ、加納飛鳥、烏谷久美、佐藤敦子、眞田道郎、恒吉和徳、二宮一朗、堀田真奈、三浦和尚、宮本章教、村上出、森公夫、山本良子(五十音順、敬称略)

(2) 事務局

黒瀬子ども・子育て担当部長、白石子ども・子育て担当部副部長及び事業関係担当課等長並びに担当者

4. 傍聴の可否

可(傍聴者2名)

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 委員及び事務局職員紹介

(3) 会長・副会長選出

(4) 会長・副会長挨拶

(5) 確認事項

松山市子ども・子育て会議

(6) 議事

松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価

(7) 部会委員指名

(8) 閉会

6. 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 配席図
- ・ 委員名簿
- ・ 資料 1 松山市子ども・子育て会議
- ・ 資料 2 松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価
- ・ 資料 3 松山市子ども・子育て会議部会委員の指名について

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、平成 28 年度第 1 回松山市子ども・子育て会議を開会させていただきます。

後ほど会長を選出いただくまでの間、引き続き私の方で、進行をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

本日の会議につきましては、委員総数 20 名のうち、17 名のご出席をいただいておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行をさせていただきます。

まず、開会にあたりまして、松山市保健福祉部子ども・子育て担当部長の黒瀬より、ご挨拶を申し上げます

～黒瀬担当部長挨拶～

2. 委員及び事務局職員紹介

・事務局

続きまして、本日は委員委嘱後、初の会議となりますので、お手元の名簿の順に、委員の皆様、及び市の職員をご紹介させていただきます。こちらでお名前を申し上げますので、恐れ入りますが、その場でご起立し、一礼の後に、ご着席ください。

～五十音順で委員紹介～

3. 会長及び副会長の選出

・事務局

続きまして、「次第 3. 会長及び副会長の選出」についてですが、当会議の会長及び副会長は、会議条例第 5 条第 2 項の規定により、「委員の互選により定める。」こととしております。

まず、どなたか会長のご推薦はございますか。

・宮本委員

前回の会議でも会長を務めておられた、三浦委員を推薦します。

・事務局

三浦委員を会長にご推薦いただきましたが、皆様よろしいでしょうか。

— 拍手 —

・事務局

ご異議がないようですので、三浦委員、会長をお願いしてよろしいでしょうか。

・三浦会長

はい、力不足ですが、よろしくお願いします。

・事務局

ありがとうございます。それでは、三浦委員 を会長とすることに決定します
続きまして、副会長について、どなたか副会長のご推薦はございますか。

・三浦会長

私も引き続き会長となりましたので、恒吉委員に引き続き副会長をお願いできればうれしいの
ですが。

・事務局

恒吉委員を副会長にご推薦いただきましたが、皆様よろしいでしょうか。

— 拍 手 —

・事務局

ご異議がないようですので、恒吉委員、副会長の方をお願いしてよろしいでしょうか。

・恒吉副会長

わかりました。よろしくお願いします。

・事務局

ありがとうございます。それでは、恒吉(つねよし) 委員 を副会長とすることに決定します
それでは、恐れ入りますが、三浦委員には、会長席の方へ、恒吉委員には、副会長席の方へ移動
をお願いします。

4. 会長及び副会長あいさつ

・事務局

それでは、三浦会長、恒吉副会長から、それぞれご挨拶をいただければと思います。
まず、三浦会長、よろしくお願いします。

・三浦会長

改めましてみなさんこんにちは。本当に力不足ですが、よろしくお願いいたします。本日は赤
ちゃんもご出席しており、この会議にふさわしい雰囲気を進めることができるのかなあと
思っているところです。私自身も3人育て、今は3歳と6歳の赤ん坊を育てて、今朝も下の赤ん坊と「格
闘」してまいりましたが、共働きの状態で子どもを育てているということで、ある程度の経験は
あるのですが、みなさまのような専門性を持った人間ではないので、本当に力不足なんです
が、よろしくお願いいたします。大事なことは先ほどの部長さんの挨拶の中で尽きております
が、2年前にこの事業計画を策定し、それがこれまで順調に（実績が）出てきているのではないかと
思

っております。これを引き続いて維持・発展させるためという趣旨の会議だと思います。みなさんのご協力をいただきながら、進めさせていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

- ・恒吉副会長

先ほど副会長に選出いただきました聖カタリナ大学の恒吉と申します。みなさんの専門性に比べ微力ではありますが、みなさんのご協力をいただきながら、三浦会長を補佐して、この会議がより意義のあるものになるよう、精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

- ・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、会長が「議長となる」旨の規定に基づき、ここから先は三浦会長に進行をお願いすることにいたします。

三浦会長、よろしくお願いいたします。

5. 確認事項

- ・三浦会長

改めてよろしくお願いいたします。新しい委員さんもおられるということなので、この松山市子ども・子育て会議について、この会議の性格と任務等について、確認していただきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

- ・事務局

～事務局から、「松山市子ども・子育て会議」について説明～

- ・三浦会長

ありがとうございます。この会議の概要を説明していただきましたが、これまでやってきた方法で、1つのポイントとしては、2つの部会に分かれるということ、それぞれの部会の決定を全体での決定とする約束で動いており、恒吉副会長にも全体会と同様の役割を果たしていただくことになるのです。それから松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価、中間見直し、利用定員の設定について、審議をしていくことと理解しましたが、何かご質問等ございますでしょうか。

確認ということなので、審議することは無いので、よろしいでしょうか。

なお、部会に属する委員については、条例により、私（会長）に一任いただいておりますので、よろしくお願いいたします。

6. 議事

- ・三浦会長

それでは、議事に入ります。「松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価」について、事務局より説明をお願いします。

- ・事務局

～事務局から、「松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価」について説明～

- 三浦会長
ありがとうございました。点検・評価というのは常に行わなければならない流れになっており、その内容と方法、方法としては進捗管理表を作成してというところが中心になってきますが、体制についての説明でした。この点検・評価の流れの中で見直しが必要となれば、見直しに着手するという流れでございます。何か質問があればお願いいたします。
- 堀田委員
進捗管理表は確定ではないということでしょうか。
- 事務局
基本的にはこの様式で作成したいと考えています。取組状況や今後の見込みは文章で記載させていただこうと考えています。
- 堀田委員
評価・点検ということでどうしても目に見える数値で図ることになってしまうと思うんですが、目に見えないことが非常に大事かと思ってまして、保育施設など新しく施設はできてきていますが、仕事柄気になっているのが、施設の労働環境がよろしくないと感じています。施設整備と労働環境の整備はセットでないといけないと思っているんですけど、評価の方法が自己評価と努力義務の第3者評価しかなく、十分ではなく、保育士の処遇っていうのも問題だと思いますし、この業界に残らないっていう方もいるので、そこらへんの評価っていうのを独自にあってはどうかとは思っています。
- 事務局
特定教育・保育施設の評価の在り方によって、労働環境の質が担保されていくのではというご指摘だと思うのですが、評価については、自己評価と第3者評価の方法があり、制度的な周知などを指導監査に当たっていく中で行える面もあるとは考えています。進捗管理表の中で反映できるかどうかというところですが、こちらで作成したものにご意見をいただき、必要であれば修正していくような形にさせてもらえればと思います。
- 山本委員
堀田委員と同意見で、児童クラブは業務が大変そうじゃないと思われてしまいそうなんですが、人間関係や様々な問題で働きたがらない人が増えていると聞いています。6年生まで預かれる国のシステムになっているが、実際は対象学年を拡大できていない児童クラブもあるというのも聞いています。同じように第3者機関で労働環境の評価、もっと仕事がしやすい環境になるように、第3者機関が入っていけるようにしてくれればいいなと思います。
- 三浦会長
ご要望として受け止めておきます。事務局で何か答えますか。
- 事務局
ご要望として受け止めます。

・三浦会長

労働条件や労働環境のことはさることながら、保育の質ということもあって、そういうものは数値目標的には出しにくいという現状について、ご指摘いただきました。

・二宮委員

堀田委員のいう幼稚園の当事者にあたるんですが、ちょっと教えてもらいたいのですが、労働環境というのは、多岐にわたるものだと思います。労働時間もそうだし、給与待遇面についてもそうであろうし、国のほうもなかなか指標では示せていません。労働時間等は当然示せますが、処遇で言えば、国で考えられて、幼稚園の部分は新制度に移行してないと加算部分が無いんですが、保育士についてはかなり充実してきているんであると思うんですね。確かに保育士・幼稚園教諭が年度途中で退職されるという話を毎年のように聞いています。そういった意味では、労働環境を整えないといけないとは、当事者として重々承知していますが、どんなにがんばってもそこが受けきれないということもあるので、どこまでをこうして欲しいのか。特に多くのところが新制度に入ってきているので、松山市が指導監査に入ってるので、入られているところに聞くと、教育の質の部分にどうしても視点があたりがちなんですが、働かされている方へのヒアリングというのは今後必要になってくると思います。そのあたりは国が示してないからではなく、施設があっても働き手がないと、子どもを預かれない状況になることが、現実には都市部では起こっていると聞いています。そういったところを加味していただければなと思います。

・三浦会長

ありがとうございます。非常に微妙な問題ではありますが、今回の点検・評価につきまして、当面の着手としては数値目標がセットされているわけですから、そういったことについて、具体的に、これまでうまく進捗しているのかどうかということでございます。そういった点検の中で、うまく進捗していないのであれば、なぜかというところでいろいろな問題について、ご意見をいただくことはできると思います。

ただいま、貴重な意見をいただきました。議事としては、いただいた意見を附帯的に扱いながら、事務局の方針、つまり、点検・評価の内容と方法、体制というところをお認めいただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それではこの案に従いまして、この方針で、次回以降、事務局のほうでフォーマットに数字などをいれるなど、ご報告、ご提案をいただく流れになると思います。よろしく願いいたします。

7. 部会委員指名

・三浦会長

次の部会に移る前に、各部会の委員の指名をいたします。事務局より資料を配ります。2つの部会を設置していますので、委員 20 名をちょうど半分にした、10 名ずつの構成となります。

教育・保育部会は、相原委員、上岡委員、香川委員、烏谷委員、眞田委員、二宮委員、村上委員、森委員、吉田委員、私、三浦の 10 名です。主に、幼稚園や保育所の事業関係者の方を中心として選ばせていただきました。部会長は、この流れで、私が行わさせていただきます。副部会長は、香川委員を指名させていただきます。よろしく願いいたします。

地域子育て部会は、井上委員、太田委員、金谷委員、加納委員、佐藤委員、恒吉委員、堀田委員、宮本委員、山本委員、吉松委員の 10 名です。主に、地域子ども・子育て支援事業関係に従事されている方を中心として選ばせていただきました。部会長は恒吉委員、副部会長は佐藤委員を指名させていただきます。よろしく願いいたします。

部会長と副部会長を中心に、審議を進めていただければと思います。以上を持ちまして議事を終了いたします。

8. 閉会

・事務局

以上をもちまして、「平成 28 年度 第 1 回 松山市子ども・子育て会議」を閉会いたします。
委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

(了)